

令和 5 年度名古屋大学文学部

学校推薦型選抜学生募集要項

「学生募集要項」は、冊子体での配布は行いませんので、ホームページから閲覧またはダウンロードしてください。出願者は、選抜内容や出願方法、締切日（時間）等をしっかり確認したうえで、必要な手続を行ってください。

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、試験日程や試験方法等を変更する可能性があります。変更する場合は、本学の「受験生応援サイト」で随時公表しますので、出願や受験の際は必ず最新の情報を確認してください。

○名古屋大学 受験生応援サイト〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>

名古屋大学文学部

名古屋市千種区不老町B4—4（700）

郵便番号 464—8601

電話 052—789—2207

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

名古屋大学では、自然災害等による被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試について検定料免除の特別措置を実施します。免除申請の対象や手続き方法については、下記を確認してください。

- 名古屋大学 受験生応援サイト〔入試情報を知りたい（検定料の特別措置）〕
<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/cat/saigai/>

不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意して確認するようにしてください。

- 名古屋大学 受験生応援サイト〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕
<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>

名古屋大学の教育を支える3つの方針

●名古屋大学の教育の基本理念と育成する人間像

名古屋大学は「**学術憲章**」(2000年制定)で、「名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的發展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」と、その使命を定めています。さらに「学術憲章」では「研究と教育の基本目標」として、「(1)名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。(2)名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ**勇氣ある知識人**を育てる」という基本理念を掲げています。

この「学術憲章」に示される基本理念の下で、名古屋大学は日本における基幹総合大学の一つとして、創造的な教育・研究活動を通じ、豊かな文化の構築と科学・技術の発展に寄与してきました。21世紀に入り6名のノーベル賞受賞者を輩出するなど世界屈指の研究成果を生み出すとともに、既存の権威にとらわれることのない自由闊達な学風の下、多数の進取の気性に富んだリーダー人材を育成してきています。名古屋大学はこれらの人材や知的成果を広く社会に提供するための開かれた大学づくりに努めています。冒頭で述べたように、「**勇氣ある知識人**」を育成する人間像として示しています。

「**勇氣ある知識人**」とは、責任感をもって社会に貢献しようとする高い志とグローバルな視野をそなえ、幅広い教養と高い専門性を身につけ、人々の幸福や持続可能な社会の発展を妨げる諸問題の解決に積極的に寄与できる人材を言います。このような真の勇氣と知性を持ち、未来を切り拓いていける人が、名古屋大学が育成しようとしている人間像なのです。

この「**勇氣ある知識人**」を支える力となるのが、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心です。こうした優れた資質・能力を持った人を、名古屋大学は、多面的な学術研究活動と自発性を重視する教育実践によって育成しています。

●3つの方針に基づく大学教育の質の向上

名古屋大学では、このような教育を適切に実施するため、①卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、②教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、③入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)という3つの方針を学士課程及び大学院課程において定め、広く学内外に向けて公表しています。

これらの方針は、名古屋大学の教職員にとっては、大学がめざす教育を実現するための指針であり、つねに立ち戻って教育のあり方を点検するための指標でもあります。名古屋大学への入学を志望する者にとっては、入学後に期待できる教育のあり方や、入学までに身につけておくべき素養について知るための情報源となります。また、名古屋大学に在学する学生にとっては、本学で提供されている教育が何をめざしているのかを普段から意識するための手がかりとなります。さらに卒業生や修了生の活躍の場となる社会にとっては、名古屋大学がどのような資質・能力をそなえた人材を育てているのかを理解する拠りどころとなります。

これら3つの方針は、相互に密接に関連してこそ、その真価を発揮します。名古屋大学では、教育の基本理念と育成をめざす人間像を起点として、3つの方針を一体的に定めています。そして、このように一体的に定められた3つの方針に照らして、本学の教育のあり方を自己点検・評価し、教育の質を向上させていく取組を積極的に進めています。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、各学部・学科の教育目標と基準に沿った資質・能力の卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学士の学位を授けます。名古屋大学の学位は、真の勇氣と知性を持ち、未来を切り拓いていく「**勇氣ある知識人**」として、それぞれの学術分野で、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心が培われたことを証します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに、学術分野の特徴に基づき、社会からの期待に応えるために育成する人間像を教育目標として設定しており、それに基づく基準を定めています。学士の学位は、各学部・学科のカリキュラムの履修を通して、その基準に対応した資質・能力を身につけた学生に対して授与されます。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、高度で幅広い教養を育むための教養教育と、飽くことなき探究心の涵養と新たな知の主体的創造につながる専門教育との二本柱からなる体系的な教育課程により、学生を育てます。多様な授業形態の組み合わせによる教育課程の展開と自発的な学修の促進を図り、学術分野の特徴を活かした、教育実践及び学修指導を適切に実施します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに教育目標として設定した、育成する人間像に対応する資質・能力を培うためにふさわしい教育課程を編成し、実施しています。

入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、未来の「**勇氣ある知識人**」を目指す人を国内外に求めます。各学部・学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。

名古屋大学では「学術憲章」に掲げているように、「**勇氣ある知識人**」の育成を目指しています。「**勇氣ある知識人**」として必要な資質・能力は、大学教育での学びだけで培われるわけではありません。中等教育で身に付けた土台の上に立つてこそ、**勇氣ある知識人**への成長が可能になります。そのため、名古屋大学では、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を備える人を国内外に求めています。

各学部・学科の特徴に基づき、多様な評価方法を適宜組み合わせた入試を実施し、ひとりひとりの学生を選抜します。

文学部の教育を支える3つの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（1）育成する人材像（教育目標）

文学部は、以下に示す資質・能力等を備え、卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学位を授与します。

文学部が授与する学位は、言語・文化・歴史に対する深い探究心と社会・環境への強い関心を持ち、高い異文化理解力を備えた人材であり、また、人文学的教養を通して、国際社会・地域社会の諸問題の解決に寄与しうる人材であること、そして、「高い異文化理解能力と言語運用能力」、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」、「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション能力」、「現代社会が直面する諸問題に専門分野の知見に基づき対応できる能力」を備えていることを証します。

（2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

文学部の卒業要件は、原則として4年以上在学し、所定の授業科目のうち、全学教育科目を40単位以上、専門科目を84単位以上、合計124単位以上を履修し、かつ卒業論文の試験に合格することです。なお、専門科目の単位数には卒業論文10単位が含まれます。

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部では、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に掲げる資質や能力を身につけた人材を育成するため、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ①全学教育科目の中の言語文化科目によって、「高い異文化理解能力と言語運用能力」の基礎を身につけます。
- ②全学教育科目の中の基礎セミナーによって、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」および「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション能力」の基礎を身につけます。
- ③全学教育科目の中の教養科目「現代教養科目（自然系・学際・融合系）」によって、「現代社会が直面する諸問題」を高度で幅広い教養の観点から理解する力を身につけます。
- ④全学教育科目の中の分野別基礎科目「人文・社会系基礎科目」によって、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」の概略を学びます。
- ⑤専門科目の履修によって、「専門分野における基本的な研究方法を理解し、応用する力」を修得し、「文献や資料を収集・読解・分析する能力」や「論旨の一貫した文章構成能力とプレゼンテーション能力」、「高い異文化理解能力と言語運用能力」を高めます。
- ⑥これらの能力について、小論文や筆記試験、口頭発表、討議への貢献度など、各授業において定める方法によって単位認定を行います。
- ⑦卒業論文を書き上げることによって、これらの能力が身についたことを確認します。
- ⑧カリキュラム全体の履修を通して、「現代社会が直面する諸問題に専門分野の知見に基づき対応できる能力」を身につけます。

上記のカリキュラム編成のもと、それぞれの科目区分の中に、講義、演習、実習などの多様な形態の授業を配置し、学年進行にそって、基礎力、応用力、課題解決能力が段階的に涵養されます。

入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

（1）入学者受入れの方針

文学部では、養成する人材像とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力を備え、人間の営為としての言語・文化・歴史に深い関心を持ち、社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考えることに意欲がある人」を入学者として選抜します。

（2）選抜の基本方針

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

文学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れた者を対象として、アドミッション・ポリシーに適合した人材を選抜するため、調査書、志願理由書等の提出書類、小論文の成績および面接の結果を総合的に判断し選抜を行います。「人文学分野の研究に取り組むのに必要な基礎的な学力」は提出書類および面接によって判定します。

「人間の営為としての言語・文化・歴史に対する深い関心」や「社会・環境など現代社会が抱える諸問題を考える意欲」については、提出書類、小論文、面接によって総合的に判定します。なお、出願の際は、外国語の能力を示すスコアや国際バカロレアのスコア、SSH、SGHにおける活動状況等に関する書類を提出することができます。

1 学校推薦型選抜の概要

本試験は、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜です。しかしながら、入学後に伝統のある人文学の諸分野において学修を積むためにも、受験者には高等学校教育課程の全般における深い学習が求められます。なお、国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部です。

2 募集人員

15名

3 学校推薦型選抜の対象者

次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、かつ①から③のすべてを満たす者

- (1)高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者
- (2)学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和4年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者
- (3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者

- ①人文学の学修に強い意欲を持ち、学業及び人物ともに傑出し、学校長等が責任をもって推薦できる者
- ②調査書の学習成績概評がA段階である者
- ③合格した場合には必ず入学することを確約できる者

4 推薦人員

各高等学校等が推薦できる人数は、2名以内とします。

5 出願手続

出願手続の流れとそれぞれの期日は以下のとおりです。

すべての手続を行い、期日内に必要書類（郵送）が名古屋大学へ到着することで出願が完了します。詳細は、10月中旬に本学のホームページ（次ページ参照）でお知らせする予定です。

志願者は、6頁の＜高等学校等の進路指導ご担当の方々へ＞、＜志願者へ＞にも目を通し、進路指導担当教諭等と十分に相談したうえで出願してください。

①インターネット出願サイトで出願登録をする

出願登録期間：令和4年10月27日（木）10時～同年11月6日（日）15時まで
※出願登録完了後は、登録内容の修正・変更ができません。誤入力がないよう注意してください。

②入学検定料を納入する

払込期間：令和4年10月27日（木）10時～同年11月6日（日）15時まで
※出願登録と入学検定料の納入だけでは、出願したことになりません。

③インターネット出願サイトから「送付ラベル」と「入学志願票」を印刷する

④出願書類を郵送する

出願期間：令和4年11月1日（火）～同年11月7日（月）16時必着

【注】上記の出願書類受付期間後に到着したものは受理しません。

③で印刷した「送付ラベル」を封筒に貼り、郵送で提出が必要な「入学志願票」,「調査書」,「推薦書」,「志願理由書」および「任意提出書類」等を入れ、書留速達郵便で郵送する。

○名古屋大学 受験生応援サイト〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news/>

○名古屋大学 受験生応援サイト〔入試情報を知りたい（インターネット出願・入学手続）〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/>

6 検定料と納入方法、検定料免除、検定料返還について

(1)出願登録の際に必要な料金

①入学検定料：17,000円

②受験票送料：344円（定形郵便料金84円＋速達料金260円）

以上①、②の料金のほかに支払手数料が必要となります。

※出願書類を受理した後は、「(3)検定料の返還について」に該当する場合を除き、いかなる理由があっても納入済みの検定料は返還しません。

※自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料免除の対象者（表紙の次ページ参照）は、出願時に検定料を納入せずに、文学部の入試担当〔052-789-2207〕までご連絡ください。

(2)納入方法等

入学検定料等の納入は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング
- ・コンビニエンスストア
- ・Pay-easy対応銀行ATM

詳細については、ホームページを確認してください。（10月中旬公表予定）

○名古屋大学 受験生応援サイト <https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>

(3)検定料の返還について

出願書類を受理した後は、第1次選考の不合格者（※）以外は、納入済みの検定料は原則返還しません。但し、以下に該当する場合は、納入された検定料を返還します。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。

- ①検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- ②検定料を二重に納入した場合

<返還請求方法>

以下の2点を文学部入試担当（10頁「16 その他」参照）に郵送してください。なお、受付期限は令和5年1月20日（金）必着です。

- 氏名（フリガナ）、現住所、連絡先の電話番号、返還請求の理由、受付番号（10桁）を記載したもの（様式は自由、用紙はA4サイズ）
 - 返信用封筒（郵便番号、住所及び氏名を記入し、長形3号封筒に84円切手を貼ったもの）
- 後日、返還手続に必要な書類を郵送します。

※第1次選考の不合格者には、申請により13,000円を返還します。これに該当する者には、第1次選考結果発表後に返還金請求書を送付しますので、令和5年1月20日（金）までに提出してください。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。

7 郵送で提出する出願書類

(1)書類の送付方法

インターネットでの出願登録及び入学検定料の支払いを行ったあと、出願に必要な書類を、送付ラベルを貼った角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、学校長等を経由して書留速達郵便で郵送してください。

また、6頁「高等学校等の進路指導ご担当の方々へ」をもとに進路指導担当教諭等と十分相談した上で出願してください。

①送付先

送付ラベルに、送付先と差出人（志願者名）等が印字されます。

送付ラベルは、インターネット出願システムから、A4サイズでカラー印刷してください。（詳細は10月中旬に本学のホームページでお知らせします）

②送付方法

書留速達郵便

出願書類の提出は郵送に限ります。

(2)出願に必要な書類等

7頁の一覧を確認してください。注意事項は以下①～⑤のとおりです。

- ①提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。
- ②いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。
- ③推薦理由、志願理由等については、必ず本学所定の「推薦書」、「志願理由書」に記入してください。別添資料等の提出は認めません。誤って提出された場合も、審査の対象にはなりません。また、資料の返却にも応じられません。
- ④入学志願票はじめ出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤任意で提出を求めるものについては、参考として用いることがあります。なお、参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が、中止・延期等となった場合には、努力のプロセス等を、A4サイズ片面1枚（様式自由）に記載の上、提出することが可能です。なお、この書類は3つまで提出できる任意で提出を求める書類の1つとして扱います。（囲みく志願者へ>参照）

<高等学校等の進路指導ご担当の方々へ>

■調査書について

本学では、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物、学力、ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤と標示することを希望します。この場合、「備考」の欄にその理由を必ず明示してください。

■任意で提出を求める書類について

記載確認者は、学級担任等であり、記載内容について確認できる教諭としてください。

<志願者へ> 任意で提出を求めるものについて

語学力を示す各種試験のスコア（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC・HSK・中検・DELTA/DALF・仏検・Goethe-Zertifikat・独検等）、国際バカロレアのスコア、スーパーグローバルハイスクール・スーパーサイエンスハイスクールにおける活動、全国規模・地方規模の人文分野のコンテスト等への参加状況、科学オリンピック等の実績、その他各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等

	出願書類等	注 意 事 項
①	送付ラベル [出願書類の送付先, 差出人等が印字されます]	○入学検定料納入後に、インターネット出願システムから、 A 4 サイズでカラー印刷 してください。 ○郵送用の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) に貼ってください。
②	入学志願票・写真票 (志願票と写真票で 1 枚)	<入学志願票・写真票> ○入学検定料納入後に、インターネット出願システムから、 A 4 サイズでカラー印刷してください。 <顔写真について> ○出願前 3 か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。 ※この写真は、入学試験時の本人確認や、入学者に交付される学生証の写真として使用します。
③	調査書 (学校において作成)	○文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封してください。
④	推薦書 (学校において作成)	○本学ホームページから所定の様式をダウンロードし、 A 3 サイズ で印刷の上、学校において作成し、厳封してください。
⑤	志願理由書 (志願者本人が作成)	○本学ホームページから所定の様式をダウンロードし、 A 3 サイズ で印刷の上、自筆で記入してください。
⑥	任意で提出を求める書類 (志願者本人が作成し、学校において記載確認欄を記入)	○本学ホームページから所定の様式をダウンロードし、A 3 サイズで印刷の上、提出する書類名などを記入し、任意で提出する書類の写しを提出してください。 ○提出できる書類は 3 つまでとします。

※④～⑥の所定の様式については、名古屋大学 受験生応援サイト〔入試情報を知りたい(学部入試)〕よりダウンロードしてください。

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/>

8 受験票の交付

受験票は、令和 4 年 11 月 8 日（火）以降に、インターネット出願サイトで登録した住所へ本人宛に送付します。受験票が届いたら、試験日などの記載事項を必ず確認してください。不備がある場合には文学部入試担当まで連絡してください。

なお、氏名について、コンピュータで表記できない文字は、文字を置き換えるか、カタカナ等で表記します。

また、令和 4 年 11 月 11 日（金）までに到着しない場合は、文学部入試担当へ確認してください。

9 受験上の配慮を必要とする者の出願

病気、負傷、障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ本学部と相談してください。

(1)相談の時期

令和4年9月26日（月）まで

(2)相談の方法

以下の3点の書類を郵送で提出してください。①と③の様式は本学の受験生応援サイト (<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>) よりダウンロードして使用ください。なお、必要と判断される場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

①病気、負傷、障害等の状況及び受験上の配慮を希望する事項等を記載したもの（様式1）

②病気、負傷、障害等に関する医師の診断書、障害者手帳等（写しでも構いません）

③出身学校関係者の添書（様式2）

(3)申請先・相談先

〒464-8601

名古屋市千種区不老町B4-4（700）名古屋大学文学部 入試担当

〔電話 052-789-2207〕

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、お問い合わせください。

10 選 抜 方 法

選抜は、第1次選考（書類審査）と第2次選考（小論文及び面接）により行います。

(1)第1次選考は、書類審査（推薦書、調査書及び志願理由書）において行い、約30名を第1次合格者とします。

第1次選考結果は、令和4年11月18日（金）午前11時に本学の受験生応援サイト〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕において発表しますので、必ず確認してください。（パソコン又はスマートフォンが必要です）

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news/>

(2)第2次選考は、第1次選考の合格者に対して下表のとおりに行い、総合的に判定します。

試 験 日 時	試 験 区 分	試 験 場 所
令和4年11月25日（金）		名 古 屋 大 学
10時00分～12時00分	小 論 文	文 学 部
13時00分～16時30分	面 接	（※ 配 置 図 参 照）

【注】(1)小論文は、英語の文章を読み、日本語で論述する形式です。

(2)面接は、複数教員による15分程度の個人面接です。受験者は志願理由書に基づき5分間のプレゼンテーション（Microsoft Power Pointや手持ちの資料などは利用できません）を行い、それに対して10分程度の質疑応答が行われます。

(3)試験の集合時間、場所等の詳細は、第1次選考結果発表時にホームページで指示します。

(4)任意で提出された書類については、第2次選考の参考にします。

11 合格者の発表

令和4年12月8日（木）午前11時に本学ホームページにおいて合格者の受験番号を確認することができます。

本学の受験生応援サイトでの発表は、〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕（<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news/>）からご覧になれます。（パソコン又はスマートフォンが必要です）

合格者には合格通知書と入学手続関係の案内を同日大学から発送します。

（選考結果の電話等による問合せには応じません）

12 入学手続

入学手続は、令和5年2月中旬に行います。

詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 入学料等学生納入金（予定額）

入 学 料	282,000円（入学手続時納入金）
授 業 料	前期分 267,900円（入学後に納入）
年 額	535,800円

【注】入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用されます。なお、一旦納入した入学料は返還しません。

(2) 留意事項

①学校推薦型選抜合格者は、別途通知する期日に入学手続を必ず行ってください。

②入学手続完了者は、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜を受験しても、その合格者とはなりません。

（ただし、「13 入学辞退」により入学辞退の許可を得た者は除きます。）

13 入学辞退

学校推薦型選抜の合格者の入学辞退は、認められません。特別な事情により本学に入学することができなくなった場合には、当該者の推薦を行った学校長等からの「学校推薦型選抜辞退願」を令和4年12月15日（木）午後4時までに文学部入試担当に提出し、許可を得なければなりません。許可された者のみ、本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験することが認められます。

なお、その他特別な事情が発生した場合には、速やかに文学部入試担当に連絡してください。

14 一般選抜との併願

学校推薦型選抜による結果不合格になった者は、本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験することができます。

なお、本学文学部の一般選抜（前期日程）を受験する場合には、大学入学共通テストを受験の上、令和4年11月下旬公表予定の募集要項に従って出願手続を行ってください。

15 個人情報の取扱い

- (1)個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「東海国立大学機構個人情報保護規程」に基づき、適切に管理します。
- (2)出願時に得た住所、氏名、生年月日その他の個人情報については、入学者選抜、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。
- (3)出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。また、入学者についてのみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (4)上記(2)及び(3)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うため、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度内で個人情報の全部又は一部を提供します。
- (5)国公立大学の一般選抜による合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学への情報提供に使用します。

16 そ の 他

学校推薦型選抜に関する照会については、下記において取り扱います。

〒464－8601

名古屋市千種区不老町B4－4（700）名古屋大学文学部 入試担当

〔電話 052－789－2207〕

17 新型コロナウイルス感染症罹患者への配慮について

詳細については、決定次第本学の受験生応援サイトで公表します。

○名古屋大学 受験生応援サイト〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>

【大学案内及び学部紹介冊子の請求方法】

『モバっちょ』を利用して大学案内及び学部紹介冊子の資料が請求できます。

○『モバっちょ』から請求する方法

携帯電話，スマートフォン，パソコンから請求できます。

<https://djcm-mb.jp/nagoya-u/>



【料金の支払い方法】

①請求時払い

携帯払い，スマホ払い，クレジットカード払いができます。（別途手数料が50円必要です。）

※携帯電話・スマホの機種，携帯電話会社との契約状況によって，通話料金と一緒にお支払いできない場合がございます。その場合，コンビニ後払いを選択してください。

②コンビニ後払い

資料到着後，コンビニでお支払いください。（別途手数料が126円必要です。）

大学案内《GUIDE TO NAGOYA UNIVERSITY 2023》は，
令和4年11月30日資料請求分（予定）まで，発送料無料でお届けします。

【上記請求方法についての問合せ先】

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL. 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

【修学費支援・学生の宿舎等】

1. 修学費支援

(1) 高等教育の修学支援新制度

令和2年4月から、大学等における修学の支援に関する法律に基づく修学支援新制度が始まりました。名古屋大学は、修学支援新制度の対象機関に認定されています。

高等教育の修学支援新制度は、以下2つの支援からなります。

○給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）

○授業料等の減免（授業料と入学料の免除または減額）

本制度の申請を行う場合は、文部科学省及び日本学生支援機構の以下のページから制度の詳細を確認の上、新制度に該当する方は、在籍する学校又は卒業した学校を通じて予約採用手続を行うか、入学時に手続を行ってください。詳細は「入学手続要領」にて確認してください。

文部科学省ホームページ	https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm
日本学生支援機構 奨学金ホームページ	https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html
日本学生支援機構 進学資金シミュレーター	https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html

(2) 入学料の免除及び徴収猶予

入学料について、学資負担者が、入学前1年以内に死亡または風水害等に被災するなど、特別な事情により入学料の納入が著しく困難と認められる場合は、選考の上、入学料の全額または一部が免除あるいは徴収猶予される制度があります。名古屋大学のホームページにも記載されていますが、詳細は「入学手続要領」にて確認してください。

(3) 奨学金

人物・学業ともに優れた学生であって、経済的理由により修学が困難と認められる場合には、日本学生支援機構をはじめ、地方公共団体、民間奨学事業団体等から奨学金が給与（給付）・貸与される制度があります。いずれも、選考の上、決定されます。

日本学生支援機構奨学金の詳細は、以下のホームページにて確認してください。募集日程等については、入学後まもなく、学内の掲示板および名古屋大学ホームページにてお知らせします。

(2)入学料の免除及び徴収猶予、(3)奨学金に関する詳細は、次のサイトをご覧ください。

<https://www.nagoya-u.ac.jp/academics/scholarship/index.html>

また、名古屋大学での照会先は以下のとおりです。メールで問い合わせの際は[a]を@に変えて送信ください。

(2)入学料の免除 及び徴収猶予	＜照会先＞教育推進部 学生支援課／奨学支援係 電話 052-789-2172 E-Mail gaku-sien3[a]adm.nagoya-u.ac.jp
(3)奨学金 日本学生支援機構	＜照会先＞教育推進部 学生支援課／奨学支援係 電話 052-789-2175 E-Mail nu-jasso.loan[a]adm.nagoya-u.ac.jp
(3)奨学金 日本学生支援機構 以外	*応募等の諸手続きは、入学後に在学生専用サイトで案内します。 ＜照会先＞教育推進部 学生支援課／奨学支援係 電話 052-789-2174

(4)国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学の入学者や在学者は、保護者を通じて、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を利用することができます。「国の教育ローン」は、教育のために必要な資金を融資する公的な制度で、入学金やアパートの敷金などの入学時の費用や、授業料や教科書代、アパートの家賃などの在学中の費用に幅広く使えます。なお、申込みは合格発表前にもすることができます。

詳しくは、教育ローンコールセンター（ナビダイヤル0570-00-8656）にお問い合わせいただくか、以下のページにてご確認ください。

（日本政策金融公庫ホームページ）

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

融 資 額	学生1人につき350万円以内（一定の要件に該当する場合は、450万円以内）
返 済 期 間	18年以内

2. 学生の宿舎等

(1)名古屋大学国際^{おうめいかん}嚶鳴館

＜概要＞

ア 所在地等 〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165

東山キャンパスから南へ約700m（徒歩：約10分、自転車：約5分）

イ 入居定員 291名

男子：211人（うち、外国人留学生34人）

女子：80人（うち、外国人留学生26人）

ウ 入居期間 原則として1年（審査の上、延長可能）

エ 施設概要 居室は個室（13㎡）ですが、キッチン、リビング、洗濯室は共同利用です。

オ 設備概要 居室には、机、椅子、ベッド、ワードローブ、戸棚、ユニットバス・トイレ、エアコン、Wi-Fi環境があります。

カ 経 費 寄宿料 月額16,000円（共益費を含む）／光熱水料 実費

キ 申込資格 自宅（生計を一にする家族の住居）から通学に要する時間が片道2時間以上であること

ク 審 査 本学の審査基準に基づいて、経済的状況等総合的に判断します。

参考例：年収（給与収入）が4人家族（両親、本人、私立高校在学の弟または妹）で700万円以下 等

ケ 申込方法等 宿舎申込方法等は、名古屋大学のホームページで案内します。

<https://www.nagoya-u.ac.jp/academics/campus-life/housing/>

(2)一人暮らし・すまいの紹介（アパート・マンション等） ※以下は名大生協からの案内です。

入居希望者には、名古屋大学消費生活協同組合（名大生協）において、下記により紹介しています。

期 間	時 間	会 場
令和4年12月10日（土）	12時30分～15時00分	東山キャンパス 南部食堂2階「彩」
令和5年2月13日（月）～14日（火）（予定）	10時00分～16時00分	同上
令和5年2月16日（木）～19日（日）（予定）	10時00分～16時00分	同上
令和5年2月23日（木）～26日（日）（予定）	10時00分～16時00分	同上
令和5年3月10日（金）～15日（水）（予定）	10時00分～16時00分	同上

部屋代はワンルームタイプで35,000円～65,000円程度（平均48,000円前後）。

食事付き学生会館も紹介しています。2月から3月の日程等は予定です。

名大生協・新入生応援サイト（<https://www.nucoop.jp/fresh/>）にて順次情報を掲載しますのでご参照ください。

また、来場時は来場予約をお願いいたします。

●照会先 名大生協・すまいコーナー〔電話 052-788-7875 メール nu-living@nucoop.jp〕

入学準備説明会について

入学準備や学生生活に関する説明会を予定しています。

先輩名大生が、文学部での生活や生協・共済・大学生活についての説明を行います。また、教科書購入方法などの入学準備や学生生活に関する個別相談も対応いたします。

期 間	時 間	会 場
令和4年12月10日（土）	10時00分～11時30分	東山キャンパス 南部食堂1階 「Mei-dining」

説明会の詳細については、名大生協の「受験生・新入生応援サイト」をご確認ください。

名古屋大学消費生活協同組合の受験生向け情報提供・資料請求について

名古屋大学消費生活協同組合（名大生協）は、名古屋大学受験生・保護者向けに「住まい紹介」、「入学準備」、「教科書・教材申込」などに関する情報や冊子を提供しています。

また、受験時・合格発表後に入学準備に関する説明会・住まいの相談会も計画しています。

情報の取得や資料請求は、以下のホームページから行うことができます。

名大生協の「名古屋大学生のための受験生・新入生応援サイト」は以下のURLまたはQRコードから

<https://www.nucoop.jp/fresh/index.html>



<名大生協の受験生向け資料に関するお問い合わせ先>

名古屋大学消費生活協同組合・本部 Tel：052-781-1111（平日10：00～17：00）

名古屋大学東山区配置図



